

キリストのからだとしての召会のビジョン、実行、建造

(土曜日——午前の第一の部)

メッセージ 7

キリストのからだとしての召会の建造 (1)

神の建造のビジョンとわたしたちの霊性に対するテスト

聖書：マタイ 16:18. 創 28:10-19. エペソ 2:21-22. ヘブル 13:13-14. I テモテ 3:15-16

I. 召会の建造は、神の永遠の定められた御旨とご計画の目標です。聖書の中にあるすべてのビジョンと啓示によれば、召会の建造は、神の定められた御旨の中心点、究極の目標です——マタイ 16:18. 啓 21:10-11 :

- A. 聖書の中にあるビジョンは、神の建造と関係があります——創 28:10-19. 啓 21:2.
- B. 聖書の中には、「最初の言及」という原則があります。すなわち、一つの事柄が最初に言及されると、その事柄が定められるという原則です：
 - 1. 聖書の中にある最初のビジョンは、神の建造のビジョンです——創 28:10-19.
 - 2. ですから、最初の言及の原則によれば、聖書の中にあるビジョンは、神の建造と関係があります——エゼキエル 1:1. 8:3. 43:1-7.
- C. 聖書の中にある最初のビジョンは、一つの夢です。夢の中心点は、神の家、ベテルであり、人と三一の神とがミングリングされて建造されたものです——創 28:10-19.
- D. 聖書の中にある最終のビジョン、すなわち、拡大されたビジョン、満ち満ちたビジョンは、新エルサレムです——啓 21:2-22:5 :
 - 1. ベテルのビジョンは、ビジョンの種です。新エルサレムのビジョンは、ビジョンの収穫です。
 - 2. ベテルのビジョンと新エルサレムのビジョンとの間には、聖書の中の多くのビジョンがあります。これらのビジョンは、ビジョンの種の成長、拡大、回復、さらには拡大の拡大でもあります：
 - a. モーセは、幕屋の建造のビジョンを見ました。彼は、神の建造のための天的な型についての真のビジョンを見ました。このビジョンは、種の成長でした——出 第 25 章—第 31 章。
 - b. ダビデは、次の主要なビジョンを見ました。それは、幕屋の拡大としての宮のビジョンです——サムエル下 7:1-16。
 - c. エゼキエル第 40 章から第 48 章によれば、エゼキエルが見た宮は、ダビデの見た宮の拡大でした。
 - d. ゼカリヤのビジョンは、宮の回復と関係がありました。ダニエルのビジョンは、終わりの時の宮と関係がありました——ゼカリヤ 4:9. ダニエル 9:27。
 - e. 書簡がわたしたちに見せているのは、使徒たち、おもにペテロとパウロが、彼らの時代に見た召会のビジョンです——I ペテロ 2:5. エペソ 2:21-22. 4:16。
 - f. 最終のビジョン、究極的完成のビジョンは、使徒ヨハネによって見られました——啓 21:2, 10-11。
- E. わたしたちは、神の建造を見るためにビジョンを必要とします。もしわたしたちが

主に開き、主に尋ね求めるなら、最終的にビジョンはわたしたちに開かれ、わたしたちは霊の中でビジョンを見ます。神の建造は、わたしたちのビジョンとなります——エペソ 1:17-18. 2:21-22。

II. キリストのからだとしての召会の建造のビジョンを遂行するために、残された者 [レムナント]が営所の外に出て、キリストへと行く必要があります——ヘブル 13:13-14 :

A. ヘブル第 13 章 13 節が示していることは、信者たちが営所の外に出て、イエスに従っていくべきであるということです :

1. ヘブル人への手紙においても予表においても、営所が表徴しているのは、宗教の組織であり、それは人に属するものであり、地的なものです。
2. 営所の外に出るとは、人に属する宗教の組織の外に出ることを意味します。
3. 営所は、人に属する組織を表徴しますが、都は、地的な領域を表徴します。あらゆる宗教は、人に属する組織と地的な領域であり、神の民を新約エコノミーから引き離します—— 14 節. I テモテ 1:3-4. エペソ 3:9。
4. 主を拒絶した宗教は何であれ、すなわち、ユダヤ教、カトリック、プロテスタントであれ、それは主が放棄した営所、すなわち、人の組織です。
5. 原則において、宗教的な体系としてのキリスト教は、一群れの宗教的な人々から成っています。彼らは、名前では主に属し、口先で主を敬いますが、心は主以外のものに付けられています——マタイ 15:8-9. II テモテ 3:5。

B. 今日、神が必要とするのは、一群れの残された者 [レムナント]、すなわち、小さな群れの勝利者たちが、全召会の失ってしまった立場を取り、神の当初の定められた御旨のビジョンを見て、営所の外に出て、キリストへと行くことです——使徒 26:19. ペリピ 3:4-8. ヘブル 13:13. 啓 2:7 :

1. 今日、ある人たちは依然として、どのようにしてからだのすべての肢体と連合するかを考えています。
2. このように行なおうとする人たちは、成功しないでしょう。なぜなら、これは今日の時代の性質ではないからです :
 - a. 今日の時代は、少数の勝利者たちが、拒絶された主、すなわち、営所の外にいる方の声を聞く時です—— 7 節. ヘブル 13:13。
 - b. わたしたちは、依然として営所の中にいる人たちと「連合」しようとするのではなく、営所の外に出て、主へと行き、主の定められた御旨のために主に従うべきです—— II テモテ 1:9. エペソ 3:11. ローマ 8:28。
3. わたしたちは、宗教観念や人の思想と歩調を合わせるのではなく、キリストのからだとしての召会を建造するという天的ビジョンと歩調を合わせて、営所の外に出て、キリストへと行かなければなりません——箴 29:18. エペソ 4:16。

III. 神の建造は、わたしたちの霊性をテストします—— I コリント 14:4, 12, 26 :

A. 建造は、あらゆる種類の霊性をテストします——エペソ 2:21-22. I コリント 14:26 :

1. わたしたちの霊性は、わたしたち自身を標準としてテストされるものではありません。わたしたちの霊性は、神の建造、キリストのからだによってテストされなければなりません。
2. 個人主義的な霊性は、真の霊性ではありません :

- a. もしある人が、自分は霊的であると考えているのに、独立しており、個人主義的であり、からだから孤立しているなら、彼の霊性は虚偽です。
 - b. 真実で真の霊性は、キリストのからだとしての召会を建造するためのものです——エペソ 3:16-17 前半. 4:12, 15-16。
3. 神の関心事において、重要な事は、わたしたちの霊性ではなく、建造です。神の建造が、わたしたちの標準とテストです。
- B. エゼキエル書によれば、内住のキリストの要求は、家にしたがったものです。あらゆる人は、神の家の寸法にしたがって測られ、調べられなければなりません—— 43:10 :
1. わたしたちの生活、振る舞い、奉仕は、道徳的な規則や霊的な原則にしたがって調べられるだけでなく、神の家、キリストのからだとしての召会にしたがっても調べられるべきです—— I テモテ 3:15-16。
 2. わたしたちの主要な関心事は、わたしたちの振る舞いを改善したり霊的になったりすることにあるのではなく、家に適合することであるべきです—— I コリント 14:12。
 3. わたしたちであるもの、わたしたちの行なう事が、神の建造に一致しなければ、神の目にはそれは何も勘定されません—— 3:10-15。
 4. 主は、召会、すなわち、神の家とキリストのからだにとっても注意を払うので、わたしたちも召会に注意を払い、それにしたがって自分自身を適合させるべきです—— I テモテ 3:15-16。
 5. もしわたしたちがこれを見るなら、わたしたちは聖書の教えや内なる命に注意を払うだけでなく、キリストのからだとしての召会の建造に絶対的な注意を払います——エペソ 1:22-23. 2:21-22. 4:12, 16。